

2023年度事業計画

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

『We are UBA! ~ええ波に乗るんじゃ~』

I. 基本方針

我々全国中小企業青年中央会（以下 全青中）は、平成4年3月に設立されて以来、30有余年、組合の次世代を担う青年経営者・後継者の育成に取り組む組合青年部会員の相互交流を深めることを目的として、さまざまな研修・交流活動を継続してまいりました。

しかし現状に於いては、新型コロナウイルス感染症により生活環境もガラリと変わり以前の生活に戻るのではなく with コロナを我々のやり方で歩んでいます。ウクライナ問題、多発する自然災害などで社会全体が不透明感を増しており、我々中小企業に従事するものにとっては、厳しい経済環境の中物価高騰・値上げにより経営の厳しさに日々直面している中で、今こそ全青中の仲間がお互いに励まし合いながら困難を乗り越えていく必要があります。

我々全青中は、いま為すべきことを的確に見極め、全国の組合青年部や業界の活性化、ひいては地域経済全体の活性化のための事業を実施し、全青中として本来求められている役割を十分に果たす必要があります。

これまで以上に都道府県青年中央会・協議会等間の情報共有や自己研鑽のための事業を実施していくとともに、組織のあり方や、方向性を明確にしていくための活動に重点を置き、都道府県青年中央会・協議会等の活動の活性化はもとより、組合青年部の連帯活動を促進し、中小企業、組合が課題としている「事業承継」「事業再構築」「デジタル化・生産性向上」「グリーン化、SDGs への取り組み」「災害復興・感染症対策支援・事業継続力強化・BCP」「労働・雇用」などの解決の先導役を担ってまいります。都道府県中小企業団体中央会と青年中央会・協議会等だから協力出来る場面も増えてまいります。

そこで昨年度からのテーマである『We are UBA! ~ええ波に乗るんじゃ~』を掲げ、一定の制約の下でも積極的に活動を実施することで、全国7ブロックと都道府県青年中央会・連絡協議会とのさらなる連携強化を図りつつ、組合青年部を発展させ新しい世代に必ず繋いでいくという信念のもと行動し、研鑽し、業界全体の発展に尽力します。

II. 実施事業

1. UBAサミットの開催

都道府県青年中央会・協議会等の代表者が一堂に会し、情報共有・情報交換を行うことにより、組織の強化を図るとともに、都道府県青年中央会・協議会等に所属する各企業の活性化を

図っていく。

2. 全国中小企業団体中央会との協力・更なる青年部活動支援のための連携強化

11月10日（金）に高知県高知市において組合青年部全国講習会（主催：全国中小企業団体中央会）開催が予定されており、この企画・運営等に積極的に協力していく。

また、全国中小企業団体中央会の事業である『組合青年部活性化研究会』に協力し、組合青年部の活性化に資する検討を行なう。

さらに、10月11日（水）開催予定の第75回中小企業団体全国大会（仙台国際センター展示棟：宮城県仙台市青葉区）および、12月6日（水）～8日（金）の全国中小企業団体中央会主催「新ものづくり・新サービス展」（東京ビッグサイト）に対する協力による青年部活動への支援拡大を図る。

3. 組合青年部設立促進への協力と都道府県青年中央会・協議会等への加入促進活動への展開

『組合青年部組織・運営指針』等を活用し、全国中小企業団体中央会並びにブロック青年中央会及び都道府県青年中央会・協議会等と連携することで、青年部未組織組合に対し青年部の設立を呼び掛けるとともに、未加入の組合青年部に対し加入の呼び掛けを行っていく。

4. 被災地域の組合青年部関係者に対する支援

各被災地域の現状などを全国に発信できる場を設けることによって被災地域への継続的な支援を行っていく。

5. 全国青年友好4団体トップ会議の実施

全国商工会青年部連合会、公益社団法人日本青年会議所、日本商工会議所青年部と本会が集まる『全国青年友好4団体トップ会議』をはじめとする各種会合に出席し、本会の活動をPRするとともに経済人としての連携促進の機会と創造を図っていく。

6. 組合青年部活性化のための情報提供並びに、協力・連絡・組織体制の確立

都道府県青年中央会・協議会等、組合青年部に関する情報提供を行うため、情報発信等の充実を図り、会員間の情報交流の活発化を図っていく。

7. UBAの活用促進

UBAのロゴと呼称の活用を呼びかけ、会員や友好団体等への周知を促して本会への理解を深めるとともに、全青中活動の更なる活性化を図ることを目的としたUBA活用促進事業として、UBAバッジやUBAネームプレートの会員への販売を励行する。